

2024年(令和6年)度事業報告書

(2024年(令和6年)年4月1日から2025年(令和7年)3月31日まで)

一般財団法人 関西情報センター

目 次

一. 概 況	1
二. 総務事項	2
三. 事 業	4
<u>1. 調査研究、普及・啓発事業</u>	
＜情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業＞	
(1) AI・IoT活用によるビジネスイノベーションに関する調査 － e-Kansai レポート －	4
＜情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業＞	
(2) 持続可能な社会の実現にむけた IT の役割に関するシンポジウム － インフォテック 2024 －	4
(3) IT戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー	5
(4) 関西CIOカンファレンス	9
<u>2. ビジネス・政策支援事業</u>	
(1) サイバーセキュリティ研究会	9
(2) 未来創造サロン	11
(3) 関西DX推進プラットフォーム事業	12
(4) プライバシーマーク研修事業	15
(5) 地方シンクタンク協議会	15
(6) PMS構築・実践セミナー	17
(7) 関西防災減災推進プラットフォーム	17
(8) スマートインフラセンサ利用研究会	17
(9) 地区防災計画研究会	20
<u>3. 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託</u>	
(1) 令和6年度総務省請負事業「地域のセキュリティコミュニティの強化に向けた調査研究及びインシデント演習等の運営の請負」	21
(2) 令和6年度セキュリティ人材活用促進実証に係る業務(独立行政法人情報処理推進機構(IPA))	23
(3) 地区防災計画策定支援業務	23
(4) 地震・津波防災訓練等業務(内閣府)	24
<u>4. 情報化推進事業</u>	
(1) 公共施設情報システムサービス	24

(2) 情報セキュリティシステム構築支援事業(セキュアサポートサービス等)	24
<u>5. 社会システム支援事業</u>	
＜社会保健・福祉サービスソリューション＞	
(1) 健康保険組合業務サポート事業(基幹システム及び周辺サービスの提供および運用保守)	25
(2) 委託先に対するサイバー攻撃について	25
<u>6. 情報化社会基盤整備事業</u>	
(1) プライバシーマークの審査、認定	25
<u>7. 広報・交流活動事業</u>	
(1) WEB、SNS等を通じた情報発信の充実	26
(2) 賛助会員の方々への有益な情報提供・交流の場の提供	26

一. 概況

2024年度は、「中期事業運営計画2024」の仕上げの1年として、プラットフォームの構築を軸に“収益事業の強化”と“公益事業の拡充”を推進するため、①Happiness Driven Economy(※)、②Safety & Security、③DX Support の3つを重点取組テーマとして取り組んだ。

(※)Happiness Driven Economy とは、DXの進展を踏まえ、デジタル技術によって、個々人や社会全体の「幸せ(ハピネス)」を志向した製品・サービスの創出・提供を加速度的に推進することにより、世界のマーケットシーンを先導して行こうとする考え方。

1. 調査研究、普及・啓発事業

資料性の高いレポートとして広く公表し、地域全体の情報化の推進に貢献することを目的とした「e-Kansai レポート」では、「ハピネス・ドリブン・エコノミー」を志向したDX推進の展望について取りまとめた。また、「インフォテック 2024」では、「AIは、ヒトの感性にどこまで迫れるか? ~生成AI時代における新たな価値創造とビジネス~」をテーマにシンポジウムを開催し、DXによる新たな価値やマーケット創造に向けた機運の醸成を図った。さらに、「関西CIOカンファレンス」では、「DX経営の担い手 ~DX人材がトップと現場をつなぐ?!~」をテーマに先進事例の紹介やパネルディスカッションによる意見交換の場を提供した。

2. ビジネス・政策支援事業

「サイバーセキュリティ研究会」では、賛助会員企業をはじめとする関西企業や自治体、組織等に対しサイバーセキュリティ関連の普及啓発、コミュニティ醸成、人材育成に向け各種活動を実施し、情報交換の場、ネットワーク作りの場としてサロンを開催した。また、「ハピネス・ドリブン・エコノミー」をテーマに据え、有識者の方々からの情報提供や参加者同士でのディスカッションを通して将来の社会を考えるきっかけを提供する場として、「未来創造サロン」を開催した。「関西DX推進プラットフォーム事業」では関西のモノづくり関連中堅・中小企業等を中心に、DX・サイバーセキュリティの実装を強力に推進し、地域産業全体の活性化を進めた。

また、企業BCPや地区防災に資する「関西防災減災推進プラットフォーム」の企画を進めると共に災害情報ポータルサイトの試用を開始した。「スマートインフラセンサ利用研究会」ではインフラ構造物の維持管理に加えて、防災減災へのセンサ活用の推進を進めた。

その他、国・自治体等におけるプロジェクトを受託し事業を進めた。

3. 情報化推進事業

プライベート・クラウドで提供しているスポーツ施設と文化施設の予約・抽選機能を備えた公共施設情報システムサービス(OPAS/ESPAL)を安定して提供し、自治体のデジタル化サポートを推進した。

4. 社会システム支援事業

健康保険組合業務サポート事業について、基幹システムやオプションシステムの提供と運用支援を行うと共に、健康管理ソリューションを含む様々な健保システムサービスについて安定した運用サポートを実施した。また、マイナンバーカード利用による健康保険証廃止に伴う各種業務を通じ健保組合の業務を強力にサポートした。

5. 情報化社会基盤整備事業

個人情報保護の推進を目的とし、プライバシーマーク付与に係る審査、付与適格決定可否等の業務を継続して実施し、個人情報の保護など情報化社会の基盤整備に貢献するとともに、業務管理システムの更改を行い、業務の効率アップを図った。

二. 総務事項

1. 役員等の異動

当期における評議員の異動は、次のとおりである。

年月日	就任	退任
2024年6月3日	松井 康史	

当期における理事の異動は、次のとおりである。

年月日	就任	退任
2024年4月16日	藤井 剛	
2024年6月27日	上田 晃穂	西岡 知一

2. 賛助会員

賛助会員は、入会 8 社、退会 10 社となり、2024 年度末会員数は、171 社となった。

3. 評議員会

2024 年 4 月 16 日 第 31 回臨時評議員会(決議の省略の方法による)

決議事項 ・ 理事 1 名辞任につき 1 名選任の件

2024 年 6 月 3 日 第 32 回臨時評議員会(決議の省略の方法による)

決議事項 ・ 評議員 1 名選任の件

2024 年 6 月 27 日 第 33 回定時評議員会(Web 会議システム併用開催)

決議事項 ・ 2023 年(令和 6 年)度財務諸表等承認の件
・ 理事全員任期満了につき 10 名選任の件
・ 監事全員任期満了につき 2 名選任の件
・ 評議員全員任期満了につき 9 名選任の件

報告事項 ・ 2023 年(令和 5 年)度事業報告について
・ 2023 年(令和 5 年)度公益目的支出計画実施報告について
・ 2024 年(令和 6 年)度事業計画書について
・ 2024 年(令和 6 年)度収支予算書について

4. 理事会

2024 年 5 月 20 日 第 62 回臨時理事会(決議の省略の方法による)

- 決議事項 ・ 評議員会決議の省略についての決定
 ・ 評議員 1 名選任につき、その候補者決定の件
- 2024 年 6 月 11 日 第 63 回通常理事会 (Web 会議システム併用開催)
- 決議事項 ・ 2023 年 (令和 5 年) 度事業報告承認の件
 ・ 2023 年 (令和 5 年) 度財務諸表等承認の件
 ・ 2023 年 (令和 5 年) 度公益目的支出計画実施報告書承認の件
 ・ 理事全員任期満了につき理事候補 10 名決定の件
 ・ 監事全員任期満了につき監事候補 2 名決定の件
 ・ 定時評議員会招集決定の件
- 報告事項 ・ 職務執行状況報告について
- 2024 年 6 月 27 日 第 64 回臨時理事会 (Web 会議システム併用開催)
- 決議事項 ・ 会長 (代表理事)、専務理事 (代表理事)、常務理事、
 担当理事選定の件
 ・ 常勤理事の報酬支給額の件
- 2024 年 12 月 19 日 第 65 回通常理事会 (Web 会議システム併用開催)
- 報告事項 ・ 「KIIS 中期事業運営計画 2027」 について
 ・ 職務執行状況報告について
- 2025 年 3 月 25 日 第 66 回通常理事会 (Web 会議システム併用開催)
- 決議事項 ・ 2025 年 (令和 7 年) 度事業計画の件
 ・ 2025 年 (令和 7 年) 度予算の件
 ・ 役員賠償責任保険更新の件
- 報告事項 ・ 職務執行状況報告について

5. 政策委員会

- 2024 年 12 月 12 日 第 93 回委員会 (Web 会議システム併用開催)
- 講話 ・ 「DX による経営改革の推進と大阪・関西万博を契機とした関西経済の未来」
 経済産業省 近畿経済産業局長 信谷 和重 氏
- 議事 ・ 「KIIS 中期事業運営計画 2027」 について
- 2025 年 3 月 11 日 第 94 回委員会 (Web 会議システム併用開催)
- 議事 ・ 「2025 年度 KIIS 事業運営計画」 について

6. 職員

職員 1 名減により、2024 年度末においては 41 名である。

三. 事業

1. 調査研究、普及・啓発事業

<情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業>

(1) AI・IoT活用によるビジネス・イノベーションに関する調査

－ e-Kansai レポート －

DX(デジタル・トランスフォーメーション)の進展とその先の経済社会を展望するため、「DX が導くハピネス・ドリブン・エコノミーの未来」をテーマとし、調査研究を進めた。企業従事者を対象とする Web アンケート調査(500 サンプル)、及び企業の取組について深掘りするヒアリング調査を順次実施し、以下の日程で有識者による委員会を開催した。これらの取組により、「ハピネス・ドリブン・エコノミー」を志向した DX 推進の展望について検討し、報告書として取りまとめた。

■第1回 e-Kansai レポート委員会

概要：今年度アンケート調査報告(速報)ならびにアンケート調査(進捗)の報告後、全体討議を実施した。

日時：2025年2月3日(月) 10:00～12:00

実施方法：オンライン

議事：1. 「e-Kansai レポート 2024」調査結果概要について
2. 「e-Kansai レポート 2025」調査企画案について
3. 全体討議
4. その他

■第2回 e-Kansai レポート委員会

概要：今年度アンケート調査結果(速報)およびヒアリング調査結果(速報)について事務局より説明後、全体討議を実施した。

日時：2025年3月31日(月) 10:00～12:00

実施方法：オンライン

議事：1. 「e-Kansai レポート 2025」アンケート調査結果(速報)について
2. 「e-Kansai レポート 2025」ヒアリング調査結果(速報)について
3. 全体討議
4. その他

<情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業>

(2) 持続可能な社会の実現にむけたITの役割に関するシンポジウム

－ インフォテック 2024 －

2024年11月1日に「インフォテック 2024」を次のとおり開催した。また、実施報告の概要版をKIIS VISION Vo1.1に掲載した。

■開催日時：2024年11月1日(金) 13:00～17:00

■開催方法：ハイブリッド開催(①会場：大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)・12F特別会議場、②オンライン：YouTube Live 配信)

■テーマ：「AIは、ヒトの感性にどこまで迫れるか? ～生成AI時代における新たな価値創造とビジネス～」

■プログラム：

- 主催者挨拶：一般財団法人関西情報センター 会長 森下 俊三
来賓挨拶：経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部長 黒田 俊久 氏
基調講演：「人と AI との共生がもたらすイノベティブな社会への変容」
慶応義塾大学 理工学部・教授 栗原 聡 氏
特別講演：「プロダクトデザインにおける感性価値創造と AI」
関西学院大学 工学部 情報工学課程・教授 長田 典子 氏
感性価値創造インスティテュート・所長
事例講演 1：「デジタルファッション、AI の可能性 ～大阪・関西万博への取り組み～」
デジタルファッション株式会社 代表取締役社長 森田 修史 氏
事例講演 2：「世界中のろう者へ Otenna を届けるために」
富士通株式会社 コンバージングテクノロジー研究所
Otenna プロジェクトリーダー 本多 達也 氏

オープンディスカッション：

テーマ「AI は、ヒトの感性にどこまで迫れるか？ ～生成 AI 時代における新たな価値創造とビジネス～」

【ファシリテータ】

大阪大学 大学院情報科学研究科 研究科長・教授 原 隆浩 氏

【パネリスト】

- ・慶応義塾大学 理工学部・教授 栗原 聡 氏
- ・関西学院大学 工学部 情報工学課程・教授
感性価値創造インスティテュート・所長 長田 典子 氏
- ・デジタルファッション株式会社 代表取締役社長 森田 修史 氏
- ・富士通株式会社 コンバージングテクノロジー研究所
Otenna プロジェクトリーダー 本多 達也 氏

■参加登録者数：246 名

(3) IT 戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー

DX やサイバーセキュリティ、最新 IT 等に関する普及啓発セミナーを次のとおり開催した

①ビジネスイノベーション「ミニセミナー」の開催

第 1 回セミナー：

『今こそ AI を「使いこなす」ために：AI の利活用とガバナンスの実践に向けて』

本セミナーは、最新 IT 技術動向の発信を目的とした新規事業「ミニセミナー」シリーズの第一弾として企画したものである。より広く学習機会を提供するため、完全オンデマンド形式を採用し、受講者が必要な時に必要な分だけ学習できる環境を整備した。第 1 回目の講師には、デロイトトーマツコンサルティングのシニアスペシャリストリードである松本敬史氏を迎え、経済産業省・総務省による「AI 事業者ガイドライン」の解説と、実践的な AI ボットの活用事例について講義いただいた。松本氏は同ガイドラインの検討会委員も務めており、企業における AI の安全な活用方法について、実務的な観点から解説を行った。

動画公開：2024 年 7 月 16 日～

タイトル：今こそ AI を「使いこなす」ために：AI の利活用とガバナンスの実践に向けて

講 師：デロイトトーマツコンサルティング合同会社

シニアスペシャリストリード 松本 敬史 氏

②生成 AI 導入実践ワークショップ

生成 AI は、現代社会において急速に普及しており、特にビジネスの世界では、その効率性と革新性が評価され多くの企業が競争力を高めるためにこの技術を取り入れようとしている。しかし、その一方で、どのようにして生成 AI を最大限に活用すればよいのか、具体的な使用方法について認知が進んでいない。また、事業に活かすためには経営者・現場の双方の目線が合っていることが重要であるものの、経営者・現場のいずれかが推進しようとしたものの双方の目線が合っておらず、時間と労力がかかりすぎてしまい頓挫したケースが多い現状である。そこで「生成 AI 導入実践ワークショップ」と題し、企業の「新規事業開発」を題材に生成 AI を活用する全 3 回のワークショップを開催した。ワークショップで得られた成果を持ち帰って実際に事業に生かす実践的などころまで到達することを目的とした。立場の異なる双方の視点をすり合わせたうえで生成 AI を活用して新規事業創出に実際にチャレンジしていただいた。

プログラム：

第 1 回：2024 年 7 月 2 日 (火) 15:00～17:00

「事業における ChatGPT の活用について(インプットセミナー)」

第 2 回：2024 年 7 月 9 日 (火) 15:00～17:00

「事業における ChatGPT の活用について(ワークショップ①)」

第 3 回：2024 年 7 月 30 日 (火) 15:00～17:00

「事業における ChatGPT の活用について(ワークショップ②)」

講 師：株式会社 01START 代表取締役社長

芝先 恵介 氏

株式会社 01START

村中 督史 氏

会 場：松下 IMP ビル 2 階貸会議室

参加者数：10 社 25 名

③サイバーセキュリティ・リレー講座

関西を代表するセキュリティ研究者を中心に、各テーマに沿うセキュリティの原理原則を全 8 回のオムニバス形式で習得する講座の提供を行った。今年度は地域 SECURITY の結びつきを意識し、関西以外の研究者にもご登壇いただいた。

主 催：一般財団法人関西情報センター

協 力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)、中部サイバーセキュリティコミュニティ(CCSC)、九州セキュリティシンポジウム実行委員会(KYUSEC)、関西 DX 実装イニシアティブ

プログラム・講師：

第 1 回：2024 年 8 月 21 日 (水) 16:30～18:00

「セキュリティ対策において経営者が果たすべき役割」

立命館大学 情報理工学部 教授

上原 哲太郎 氏

第 2 回：2024 年 8 月 27 日 (火) 16:30～18:00

「ネットワークセキュリティとトラストマネジメント」

京都大学 学術情報メディアセンター ネットワーク研究部門 教授

岡部 寿男 氏

- 第3回：2024年8月29日(木) 16:30～18:00
「情報システムとハードウェアセキュリティ」
奈良先端科学技術大学院大学 情報セキュリティ工学研究室 教授
林 優一 氏
- 第4回：2024年9月3日(火) 16:30～18:00
「最新サイバーセキュリティ対策と人材育成」
九州大学 情報基盤研究開発センター
情報システムセキュリティ研究部門 教授
小出 洋 氏
- 第5回：2024年9月10日(火) 16:30～18:00
「重要インフラのサイバー・フィジカルセキュリティ」
名古屋工業大学 社会工学専攻 教授
渡辺 研司 氏
- 第6回：2024年9月17日(火) 16:30～18:00
「暗号と認証」
奈良工業高等専門学校 情報工学科 教授
岡村 真吾 氏
- 第7回：2024年9月24日(火) 16:30～18:00
「トンネリングと無線 LAN セキュリティ」
大阪大学 サイバーメディアセンター 教授
猪俣 敦夫 氏
- 第8回：2024年9月30日(月) 16:30～18:00
「中堅・中小企業におけるセキュリティ対策」
神戸大学 名誉教授
森井 昌克 氏

申込者数：703名

④サイバーセキュリティ・トップセミナー

製造現場や重要インフラで用いられる IoT 機器は、急速に普及・増加し、産業を支えている。一方で、「管理が行き届きにくい」「機器の性能が限定されているため適切なセキュリティ対策が困難」といった理由から、サイバー攻撃の脅威にさらされることが多くなっており、そのセキュリティ対策が急務となっている。そこで本セミナーでは、国のサイバーセキュリティに関する最近の動向や IoT 機器のセキュリティ対策の現状や重要性について、講演とトークセッションを通して伝えるものとして企画実施した。

日 時：2024年10月16日(水) 13:30～16:20

会 場：産総研・関経連うめきたサイト

主 催：一般財団法人関西情報センター、公益社団法人関西経済連合会

後 援：独立行政法人情報処理推進機構、組込みシステム産業振興機構

協 力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

プログラム：13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:00 【講演①】

「産業分野におけるサイバーセキュリティ政策について」

経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ制度企画室長

見次 正樹 氏

14:00～14:50 【講演②】

「IoT セキュリティの最前線－NOTICE による国内 IoT 機器調査－」

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバーオブザベ
ーションセンター 研究センター長 衛藤 将史 氏

15:00～16:00 【トークセッション】

<モデレーター>

神戸大学 名誉教授 森井 昌克 氏

<パネリスト>

経済産業省 商務情報政策局

サイバーセキュリティ制度企画室長 見次 正樹 氏

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバーオブザベ
ーションセンター 研究センター長 衛藤 将史 氏

16:00～16:20 交流会

申込者数：47名

⑤セキュリティ・ミニキャンプ

■セキュリティ・ミニキャンプ in 大阪【公開講座】

日 時：2025年3月21日(金) 14:00～17:00

開催場所：オンライン配信(YouTube Live)

主 催：一般財団法人関西情報センター、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会

共 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(経済産業省近畿経済産業局、
総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

後 援：独立行政法人情報処理推進機構、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、
大阪府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課、組込みシステム産業振興機構

当日プログラム：

講演1：「リアル演習で鍛える！～サイバー攻撃の“舞台裏”構築術：業界の最前線で活
躍する人材を育てるために学んだこと～」 上野 宣 氏(株式会社トライコーダ)

講演2：「セキュリティ・キャンプの紹介」

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 齋藤 徳秀 氏

トークバトル：様々な課題に喝！サイバーセキュリティお悩み相談室

上野 宣 氏(株式会社トライコーダ)、堀 祐太 氏(富士通株式会社)、竹迫 良範 氏(神
山まるごと高等専門学校)、松本 悦宜 氏(Capy 株式会社)、佳山 こうせつ 氏
(Ridgeline z 株式会社)、森田 智彦 氏(パナソニック ホールディングス株式会社)

進行：石橋 裕基(一般財団法人関西情報センター)

■セキュリティ・ミニキャンプ in 大阪【専門講座】

日 時：2024年3月22日(土) 9:00～17:00

開催場所：オンライン配信

主 催：一般財団法人関西情報センター、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会、
独立行政法人情報処理推進機構

共 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(経済産業省近畿経済産業局、
総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

後 援：公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府警察本部警務部高度情報

当日プログラム：

- 『オープニング』『セキュリティ・キャンプ紹介』一般社団法人セキュリティ・キャンプ
協議会 ステアリングコミッティ
- 『眠たくなれない倫理』西尾 太一 氏(大阪地方裁判所第 21 民事部(知的財産権部)判事)
- 『体得しよう！RSA 暗号の原理と解説』中谷 翔 氏(トヨタ自動車株式会社)
- 『Exploit & Fix ハンズオントレーニング～脆弱性なシステムでの攻撃と防御の体験～』
洲崎 俊 氏(三井物産セキュアディレクション株式会社)
- 『クロージング』 アンケート記入等

(4) 関西CIOカンファレンス

企業が IT を利活用しビジネスを活性化させていく上で、社内の組織体制の整備や IT 人材の育成は急務である。関西の CIO もしくは CIO を兼ねる経営者が、これからの時代の情報化と経営の関係を考える上で意見交換を行う場を作ることにより、参加者に対し、今後の IT による経営を考えるためのヒントを提供するため、「関西CIOカンファレンス」を次のとおり開催した。

テーマ：「DX 経営の担い手 ～DX 人材がトップと現場をつなぐ?!～」

日時：2025 年 3 月 11 日(火) 14:00～16:30

中継会場：一般財団法人関西情報センター 会議室

実施方法：Zoom ウェビナー+YouTube Live を使ったオンライン配信

講演：「DX 経営の担い手 ～コア中間層が経営と現場を結び、ビジネスアジリティを加速する実践的な組織について～」

TDC ソフト株式会社 執行役員フェロー

上條 英樹 氏

パネルディスカッション：

テーマ：「DX 経営の担い手 ～DX 人材がトップと現場をつなぐ?!～」

<コーディネータ>

神戸大学大学院 経営学研究科 教授

原田 勉 氏

<パネリスト>

・東邦電気産業株式会社 代表取締役社長

佐伯 祐左 氏

・日鉄エンジニアリング株式会社 執行役員

デジタル・トランスフォーメーションセンター長

古家 秀彦 氏

・深田電機株式会社 専務取締役

深田 亜矢子 氏

・TDC ソフト株式会社 執行役員フェロー

上條 英樹 氏

参加登録者：56 名

2. ビジネス・政策支援事業

(1) サイバーセキュリティ研究会

サイバーセキュリティ関連での普及啓発、コミュニティ醸成、人材育成に向けた各活動を次のとおり実施した

■セキュリティ最新情報解説サロン

専門家からの最新情報提供を踏まえ、会員企業の担当者同士が顔を合わせざっくばらんに議論・意見交換できる場としてサロン活動を次のとおり実施した。

・通算第 27 回サロン

日 時：2024 年 7 月 11 日(木) 17:30～19:30

会 場：一般財団法人関西情報センター 第 1 会議室

テーマ：インシデントからみるセキュリティ対策の落とし穴

ゲスト：日本電気株式会社 Corporate Executive CISO 兼

サイバーセキュリティ戦略統括部長

淵上 真一 氏

・通算第 28 回サロン

日 時：2024 年 10 月 3 日(木) 17:00～19:00

会 場：一般財団法人関西情報センター 第 1 会議室

テーマ：「サイバー空間の脅威の現状と JC3 の主な活動について

～ 産官学連携の現場から ～」

ゲスト：一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター 業務執行理事

櫻澤 健一 氏

・セキュリティ最新情報解説サロン特別編(施設見学会)

日 時：2024 年 11 月 11 日(月) 12:00～20:00

訪問先：情報通信研究機構 未来 ICT 研究所(神戸市西区岩岡町)

川崎重工業株式会社 明石工場(兵庫県明石市川崎町)

・通算第 30 回サロン

日 時：2025 年 2 月 4 日(火) 17:00～19:00

会 場：一般財団法人関西情報センター 第 1 会議室

テーマ：インターネットを悪用する犯罪グループから身を守るために

ゲスト：株式会社ディー・エヌ・エー IT 本部 セキュリティ部

セキュリティ推進グループ サイバーアナリスト

松本 隆 氏

■セキュリティ人材育成プログラム

企業等におけるセキュリティ人材の育成を目的に、必要な技術や制度等を網羅的に学ぶ研修コース「セキュリティ人材育成プログラム」を 2024 年 11 月～2025 年 1 月に開催した。受講者の職務範囲に応じて、「セキュリティ担当人材コース」「マネジメント人材コース」の 2 コースを設け、ハイブリッド形式(オンサイト(KIIS 会場)+オンライン(Webex))で講義を実施した。企業や大学の第一線で活躍するセキュリティ専門家計 14 名を講師として招致し、全 14 回のディスカッションや実機演習など、講義トピックに合わせた多様なプログラムを提供した。簡易的な理解度チェックや、講義動画の公開など、受講者の学習支援も積極的に行い、コース終了後は、回数等基準を満たした受講者に対し、受講修了証を発行した。

a. セキュリティ担当人材コース(受講者数：7 名)

2024 年 11 月 12 日(火) a-01「サイバーセキュリティ最新動向解説」

(神戸大学 森井 昌克 講師)

2024 年 11 月 22 日(金) a-02「情報セキュリティの基本とリスクマネジメント」

(ラック 富田 一成 講師)

2024 年 11 月 26 日(火) a-03「情報セキュリティの基本とリスクマネジメント【演習】」

(ラック 長谷川 長一 講師)

2024 年 12 月 2 日(金) a-04「サイバーセキュリティ人材育成とスキル」

(ISC2 小熊 慶一郎 講師)

2024 年 12 月 10 日(火) a-05「Web アプリケーション脆弱性診断ハンズオン」

- (神戸デジタル・ラボ 田所 成久 講師)
- 2024年12月17日(火) a-06「DFIR(デジタルフォレンジックとインシデントレスポンス)の入門と体験」 (神戸デジタル・ラボ 大西 翔太 講師)
- 2024年12月26日(木) a-07「ネットワーク運用基礎」(鳴門教育大学 曾根 直人 講師)
- 2025年1月16日(水) a-08「暗号と認証」 (神戸大学 白石 善明 講師)
- 2025年1月23日(木) a-09「AI・生成AIのセキュリティリスクと対策の概観」
(NEC 荒木 俊則 講師)
- 2025年1月30日(木) a-10「製品セキュリティとPSIRT構築・運用」
(GMOサイバーセキュリティ by イエラエ 林 彦博 講師・伊藤 公祐 講師)
- b. マネジメント人材コース(受講者数:7名)
- 2024年11月12日(火) b-01「サイバーセキュリティ最新動向解説」
(神戸大学 森井 昌克 講師)
- 2024年11月22日(金) b-02「情報セキュリティの基本とリスクマネジメント」
(ラック 富田 一成 講師)
- 2024年11月26日(火) b-03「情報セキュリティの基本とリスクマネジメント【演習】」
(ラック 長谷川 長一 講師)
- 2024年12月2日(金) b-04「サイバーセキュリティ人材育成とスキル」
(ISC2 小熊 慶一郎 講師)
- 2024年12月12日(木) b-05「リスク分析からの対策立案計画」
(神戸デジタル・ラボ 近藤 伸明 講師)
- 2024年12月20日(金) b-06「情報セキュリティの運用と組織」
(情報処理安全確保支援士実践講習講師 嶋倉 文裕 講師)
- 2024年12月25日(水) b-07「情報セキュリティの運用と組織【演習】」
(ラック 長谷川 長一 講師)
- 2025年1月23日(木) b-08「AI・生成AIのセキュリティリスクと対策の概観」
(NEC 荒木 俊則 講師)
- 2025年1月28日(火) b-09「動けるCSIRTへ」
(JPCERT コーディネーションセンター 堀 充孝 講師)
- 2025年1月30日(木) b-10「製品セキュリティとPSIRT構築・運用」
(GMOサイバーセキュリティ by イエラエ 林 彦博 講師・伊藤 公祐 講師)

(2) 未来創造サロン

未来創造サロンでは、今後のビジネスがこれまでのように物質的・数量的な価値の最大化でなく、人間の幸せや幸福感を最大化するためのビジネスが拡大していくという仮定の下、「ハピネス・ドリブン・エコノミー」をテーマに据え、有識者の方々からの情報提供や参加者同士でのディスカッションを通して将来の社会を考えるきっかけを提供した。開催概要は次のとおり。

<第1回>開催日時:2024年5月30日(木) 15:00~17:00

開催方法:Zoom オンライン

プログラム:

- ・キーノートスピーチ

「サンスターのデジタルビジネスと、それを生み出す組織風土改革

～100年Mouth100年Healthの実現に向けて～

サンスター株式会社 IT・DX推進部 部長 堀 健二 氏

・ディスカッション

ゲスト：堀 健二 氏(サンスター株式会社 IT・DX推進部 部長)

モデレータ：株式会社NTTデータ経営研究所 ニューロ・コグニティブ・イノベーションユニット アソシエイトパートナー 茨木 拓也 氏

参加者数：19名(講師含む)

<第2回>開催日時：2024年9月19日(木) 15:00～17:00

開催方法：Zoom オンライン

プログラム：

・キーノートスピーチ

「未来を創造するDXとは ～ビジョン起点の組織改革とイノベーション共創～」

株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長 藤原 加奈 氏

・ディスカッション

モデレータ：株式会社NTTデータ経営研究所 ニューロ・コグニティブ・イノベーションユニット アソシエイトパートナー 茨木 拓也 氏

参加者数：17名(講師含む)

<第3回>開催日時：2024年10月22日(火) 14:00～16:00

開催方法：Zoom オンライン

プログラム：

・キーノートスピーチ

『真面目に働く人が正しく評価される仕組み』を創造する

～モビリティサービスによる社会課題解決に向けて～

Global Mobility Service 株式会社 代表取締役社長 CEO 中島 徳至 氏

・ディスカッション

モデレータ：株式会社NTTデータ経営研究所 ニューロ・コグニティブ・イノベーションユニット アソシエイトパートナー 茨木 拓也 氏

参加者数：19名(講師含む)

<第4回>開催日時：2025年3月31日(月) 16:00～18:00

開催方法：Zoom オンライン

プログラム：

・キーノートスピーチ

「あらゆる環境問題を科学の力で克服！ピリカの軌跡とさらなる挑戦に向けて」

一般社団法人ピリカ 代表

小畠 不二夫 氏

・ディスカッション

モデレータ：株式会社NTTデータ経営研究所 ニューロ・コグニティブ・イノベーションユニット アソシエイトパートナー 茨木 拓也 氏

参加者数：15名(講師含む)

(3) 関西DX推進プラットフォーム事業

関西のモノづくり関連中堅・中小企業等を中心に、DX・サイバーセキュリティの実装を強力で推

進し、地域産業全体の活性化を進める「関西 DX 推進プラットフォーム事業」を継続実施する。2024 年度においては、地域企業の DX・サイバーセキュリティの実装を実現させるため、各種支援活動(普及啓発、ビジネスマッチング、伴走型支援等)を実施した。企業との共催セミナー、出前講座、専門家派遣について、早期の企画実施に向けて企業等との協議を推進した。

①DX・セキュリティ出前講座事業

業界団体や企業、自治体の勉強会・会合の場に DX やサイバーセキュリティ関連の有識者を派遣し、各勉強会や会合の場におけるテーマに即した情報提供を次のとおり実施した。

■主催：一般社団法人滋賀県住環境ディベロッパー協会

講演タイトル：知らなかったでは済まされない生成 AI に潜むリスク

開催日時：2024 年 7 月 26 日(金) 14:00～15:30

派遣講師：PwC コンサルティング合同会社 シニアマネージャー

日比 裕介 氏

シニアアソシエイト

服部 知輝 氏

■主催：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

講演タイトル：AI 技術の発展と求められる人材

開催日時：2024 年 9 月 19 日(木) 13:20～14:50

派遣講師：情報処理学会 事務局長

木下 泰三 氏

■主催：京都府警察本部 サイバーセンター、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 京都支店

テーマ：中小企業が可能なセキュリティ対策 ～ここまでできれば十分、もしできなくてもこれだけは!?～

開催日時：2024 年 9 月 25 日(水) 13:30～15:30

派遣講師：神戸大学 名誉教授

森井 昌克 氏

■主催：姫路商工会議所、兵庫県サイバー犯罪対策ネットワーク

テーマ：AI 時代に考えるべきリスクと対策 ～昨今の事例を踏まえて～

開催日時：2024 年 11 月 19 日(火) 15:15～16:00

派遣講師：大阪大学 教授、CISO サイバーメディアセンター副センター長

猪俣 敦夫 氏

■主催：大阪府行政書士会

テーマ：サイバー攻撃対策、今、中小企業ができること！ ～ランサムウェアの真実、その脅威、そしてその対策～

開催日時：2024 年 11 月 25 日(水) 13:30～15:00

派遣講師：神戸大学 名誉教授

森井 昌克 氏

■主催：加古川商工会議所、兵庫県サイバー犯罪対策ネットワーク

テーマ：まずはこれだけやれば十分！サイバーセキュリティ対策、問題は本当にできるのか？ ～金も人もない、では何ができる？～

開催日時：2024 年 12 月 10 日(火) 14:00～16:00

派遣講師：神戸大学 名誉教授

森井 昌克 氏

■主催：株式会社 KAMAMESHI

講演タイトル：サイバー脅威の動向とセキュリティ対策

開催日時：2025 年 1 月 23 日(木) 12:00～12:50

派遣講師：株式会社ラック

長谷川 長一 氏

■主催：株式会社西島製作所

講演タイトル：経営リスクとしての情報セキュリティと管理職の役割

開催日時：2025年2月21日(金) 15:30～16:40

派遣講師：日本セキュリティマネジメント学会 監事

金子 啓子 氏

■主催：一般財団法人京都工場保健会

講演タイトル：情報セキュリティ最前線

開催日時：2025年2月28日(金) 14:30～16:00

派遣講師：立命館大学 情報理工学部 教授

上原 哲太郎 氏

■主催：一般社団法人日本鍛造協会

講演タイトル：製造業がひらく日本型DX

開催日時：2025年3月5日(水) 15:30～17:00

派遣講師：DX power 代表

辻野 一郎 氏

■主催：大阪市消費者センター

講演タイトル：ネット利用にかかる「情報モラル」について ～一人で抱え込まないために～

開催日時：2025年3月13日(木)、15日(土) 各日 13:45～14:45

派遣講師：子供とネットを考える会

山口 あゆみ 氏

■主催：ソリオ宝塚都市開発株式会社

講演タイトル：個人情報保護のためのセキュリティ研修

開催日時：2025年3月19日(水)、25日(火) 各日 14:00～15:30

派遣講師：ビットフロー・マネジメント株式会社 代表取締役

原 一矢 氏

②DX・セキュリティアドバイザー派遣事業

自社のDXやサイバーセキュリティ対策を推進したい企業からの要望を受け付け、それぞれの相談内容に即した専門家を派遣し、伴走型で各社の取り組みをハンズオン支援する。各企業個別の相談内容・支援内容に合わせた専門家を事務局で選定し、次のとおり16企業へ派遣した。

	業種	所在地	支援内容
A社	サービス業	滋賀県	個人情報保護対策支援
B社	製造業	大阪府	個人情報保護対策支援
C社	商社	大阪府	個人情報セキュリティ教育
D社	ソフトウェア	大阪府	IoTセキュリティについて
E社	情報処理・提供サービス業	大阪府	サーバのクラウド移行について
F社	コンサルティング・飲食	大阪府	AI活用について
G社	コンサルティング	大阪府	AI活用について
H社	印刷業	兵庫県	AI活用について
I社	宿泊業	兵庫県	AI活用について
J社	製造業・小売業	大阪府	DX認定取得について
K社	サービス業	大阪府	AI活用について
L社	卸売り	大阪府	AI活用について
M社	コンサルティング	滋賀県	AI活用について
N社	コンサルティング	大阪府	AI活用について
O社	製造業	滋賀県	サイバーセキュリティ対策
P社	卸売り	大阪府	AI活用について

③with ビジネス創出セミナー

KIIS 賛助会員企業と共催のウェビナーを実施し、広く情報提供するとともに、当該賛助会員各社のサービスの理解を深めるセミナーを次のとおり実施し、ホームページに公開した。

公開日	賛助会員企業	タイトル
2024年 7月3日	株式会社 G-gen	クラウド化の知りたい！わからない！を解決。これから始める方へ疑問解消セミナー【前編】
2024年 7月16日	リバティ・フィッシュ 株式会社	IT 業界課題と教育教材について
2024年 8月1日	株式会社 G-gen	クラウド化の知りたい！わからない！を解決。これから始める方へ疑問解消セミナー【後編】
2024年 10月22日	日本電気通信システム 株式会社	必要などころに必要な備えを。サイバー犯罪の動向と対策

(4) プライバシーマーク研修事業

個人情報保護の普及・啓発と質の高い審査員養成を目指し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)のプライバシーマーク指定研修機関として認定を受け、プライバシーマーク審査員研修(審査員補養成研修およびフォローアップ研修)を次のとおり実施した。

審査員補養成研修は、2024年9月20日～9月24日(5日間)にKIIS会議室にて集合形式で実施し12名が受講。フォローアップ研修(年6回)は、2024年7月31日、8月29日、10月18日、10月31日、11月22日、12月10日に全てオンラインにて実施し合計118名が受講。

(5) 地方シンクタンク協議会

全国のシンクタンク(46機関)で組織する地方シンクタンク協議会の運営に関し、引き続き事務局として業務を受託し、総会、地方シンクタンクフォーラム、経営者会議等を次のとおり実施した。

■令和6年度総会・講演会

<総会>

日 時：2024年7月25日(水) 14:00～15:00

会 場：大手町プレイス ホール&カンファレンス

<講演会>

日 時：2024年7月25日(木) 15:15～16:15

会 場：大手町プレイス ホール&カンファレンス

テーマ：「今後の世界経済・日本経済見通し～地域発のインバウンド戦略への示唆」

講 師：株式会社日本総合研究所 調査部長 チーフエコノミスト 石川 智久 氏

参加者数：22名

■論文アワード2024

テーマ：『地域発のインバウンド戦略～新たなビジネスチャンスの到来!?!～』

(表彰式は12月6日地方シンクタンクフォーラムにて実施)

<優秀賞>「交流人口による徳島県内への経済波及効果～インバウンド消費拡大に向けて～」

公益財団法人徳島経済研究所 上席研究員

青木 伸太郎 氏

<特別賞>「北陸として取り組むべき地域力向上策 ～北陸経済連合会『北陸新幹線敦賀開業を契機とした北陸の地域力向上策の提言』より」

一般財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部

吉田 聡子 氏

一般財団法人北陸経済研究所 調査研究部

辻野 秀信 氏

■第37回地方シンクタンクフォーラム

テーマ：「地域発のインバウンド戦略 ～新たなビジネスチャンスの到来!?!～」

日 時：2024年12月6日(金) 13:30～16:30

会 場：JAM BASE(グラングリーン大阪)「CONFERENCE 7-2」

参加費：無料

主 催：地方シンクタンク協議会

後 援：公益財団法人NIRA 総合研究開発機構

プログラム：開会挨拶 地方シンクタンク協議会 代表幹事

金井 萬造

国からの情報提供

「地方創生10年の取り組みと地方創生2.0に向けて」

内閣府 地方創生推進事務局 参事官

平林 剛 氏

基調講演

「国際観光都市・大阪の近未来を描く：大阪・関西万博で残すべきレガシーは？」

阪南大学 国際学部長 国際観光学科 教授

松村 嘉久 氏

講演

「インバウンドを契機とした地域活性化への期待と課題」

株式会社日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター 所長 藤山 光雄 氏

論文アワード2024表彰式

パネルディスカッション

「地域発のインバウンド戦略～新たなビジネスチャンスの到来!?!～」

モデレーター：公益財団法人NIRA 総合研究開発機構 理事・研究調査部長

神田 玲子 氏

パネリスト：阪南大学 国際学部長 国際観光学科 教授

松村 嘉久 氏

株式会社日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター 所長

藤山 光雄 氏

公益財団法人徳島経済研究所 上席研究員

青木 伸太郎 氏(「論文アワード2024」受賞者)

■第22回経営者会議

開催日時：2025年2月21日(金) 14:10～17:00

開催場所：ホテル磯部ガーデン(群馬県安中市)

テ ー マ：地域発・観光によるまちづくり戦略について

内 容：参加者によるグループ討議

情報提供

講演：「磯部の温泉文化について」 磯部ガーデン 代表取締役社長 櫻井 太作 氏

参加者数：15名

■取組紹介セミナー

(Vol.9) 開催日時：2024年4月24日(水) 14:00～15:00

開催方法：オンライン

テ ー マ：九州における半導体産業～現状と今後の展望

講師：公益財団法人九州経済調査協会 常務理事兼事業開発部長 岡野 秀之 氏

参加者数：22名

(Vol.10) 開催日時：2025年3月13日(木) 14:00～15:00

開催方法：オンライン

テーマ：北陸として取り組むべき地域力向上策

講師：一般財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部 研究員 吉田 聡子 氏

参加者数：12名

(6) PMS構築・実践セミナー

PMS(個人情報保護マネジメントシステム)をこれから構築しようとする事業者を対象に、サイバーセキュリティ対策及び個人情報保護に対する体制構築の推進を図るため、構築の重要性、具体的な構築方法に関するセミナーを次のとおり開催した。

〈基礎編〉 日 時：2024年9月4日(水) 14:00～16:00

開催方法：オンライン

講師：株式会社h a t h o r 経営改革支援部

(KIIS プライバシーマーク研修主任講師)

小川 敏治 氏

受講者：154名

〈実践編〉 日 時：2024年9月11日(水)、12日(木) 各日 14:00～17:00

開催方法：オンライン

講師：株式会社h a t h o r 経営改革支援部

(KIIS プライバシーマーク研修主任講師)

小川 敏治 氏

受講者：14名

(7) 関西防災減災推進プラットフォーム

自然災害の多発激甚化や南海トラフ地震が切迫した状況下、特に企業 BCP や地区防災に資する「関西防災減災推進プラットフォーム」の検討を引き続き推進するための連絡会をつぎの通り開催した。また、2024年11月には連絡会の参加組織を対象に災害情報ポータル(アルファ版)の試用を開始し、連絡会参加メンバーを対象としてアンケート調査を実施した。39名中、30名から回答があり、内容を精査しベータ版開発を推進した。

・通算第3回連絡会

開催日時：2024年10月3日(木) 15:00～17:00

開催場所：大阪ビジネスパーク クリスタルタワー 20階E会議室+ZOOM

ディスカッションテーマ：

①第2回連絡会の主な御意見と回答

②災害情報ポータル(アルファ版)の概要

③企業BCPユースケースシナリオ(動作デモ)

出席者：20団体/32名(座長、KIIS除く)

(8) スマートインフラセンサ利用研究会

インフラ構造物の維持管理に加え、防災・減災へのセンサ活用を推進するため、スマートインフラセンサ利用研究会(座長：大阪大学大学院 矢吹信喜教授、37機関参画)を実施するとともに、

同研究会のWG活動として、一般財団法人日本建設情報総合センター(以下、JACIC)の助成事業に採択された『スマートインフラセンサの防災画像情報標準化検討小委員会』において、標準化検討を進めた。さらに、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)『スマート防災ネットワーク』と連携し、国の政策に沿った検討を行った。

■スマートインフラセンサ利用研究会

(第1回)通算第32回

日時：2024年8月2日(金) 15:00~17:00

場所：クリスタルタワー20階E室+Web会議

内容：話題提供1：「Society5.0社会に向けて環境発電(エネルギーハーベスティング)技術の進展」

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 和泉センター

電子・機械システム研究部 室長

村上 修一 氏

話題提供2：「橋梁モニタリングの現状と展望」

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

構造技術部 チーフエンジニア

河田 直樹 氏

事務局：WG/JACIC 小委員会活動報告：

「防災減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討」

小委員会委員長(株式会社パスコ)

五十嵐 善一 氏

小委員会委員(一般財団法人関西情報センター)

澤田 雅彦

関連活動報告：「関西防災減災推進プラットフォームの検討状況」

一般財団法人関西情報センター マネジャー

藤本 剛

出席者数：43名(事務局8名含む)

(第2回)通算第33回

日時：2024年12月12日(木) 15:00~17:00

場所：クリスタルタワー20階E室+Web会議

内容：話題提供1：「赤外線カメラを用いて遠望非接触でコンクリート内部の変状を検出するシステム～Jシステム Evolution～」

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社

営業部 営業企画課 課長

福岡 和也 氏

話題提供2：「防災・減災、および発災時に活用される最新のICT技術の紹介」

株式会社パスコ 真空管情報事業部 事業推進部 顧問

五十嵐 善一 氏

事務局：WG/JACIC 小委員会活動報告：

「防災減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討」

小委員会委員長(株式会社パスコ)

五十嵐 善一 氏

小委員会委員(一般財団法人関西情報センター)

澤田 雅彦

関連活動報告：「関西防災減災推進プラットフォームの検討状況」

一般財団法人関西情報センター マネジャー

藤本 剛

出席者数：41名(事務局8名含む)

(第3回)通算第34回

日時：2025年3月10日(月) 15:00~17:00

場 所：クリスタルタワー20階F室+Web会議
内 容：講演：大阪大学大学院 教授 矢吹 信喜 氏
話題提供：「建機レンタルにおけるセンサー活用商材」
株式会社レンタルのニッケン 待兼 二郎 氏
事務局：WG/JACIC 小委員会活動報告：
「防災減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討」
小委員会委員長(株式会社パスコ) 五十嵐 善一 氏
小委員会委員(一般財団法人関西情報センター) 澤田 雅彦
関連活動報告：「関西防災減災推進プラットフォームの検討状況」
一般財団法人関西情報センター マネジャー 藤本 剛

出席者数：36名(事務局8名含む)

■スマートインフラセンサの防災画像情報等の標準化検討小委員会
(第1回)

日 時：2024年8月2日(金) 13:30~14:40
場 所：クリスタルタワー20階E室+Web会議
内 容：小委員会活動テーマの説明：
「防災・減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討」
小委員会委員長(株式会社パスコ) 五十嵐 善一 氏
小委員会委員(一般財団法人関西情報センター) 澤田 雅彦
話題提供：「GISの防災・減災への活動事例」
小委員会委員(ESRI ジャパン株式会社) 高垣 勲 氏
関連活動報告：「KIIS 防災関連活動 関西防災減災推進プラットフォーム」進捗
小委員会委員(一般財団法人関西情報センター) 藤本 剛
意見交換

出席者数：19名

(第2回)

日 時：2024年12月12日(木) 13:20~14:40
場 所：クリスタルタワー20階E室+Web会議
内 容：小委員会の活動テーマ状況：
「防災・減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討」
・アンケート整理と活動への反映
小委員会委員長(株式会社パスコ) 五十嵐 善一 氏
・活動3項目の進捗
小委員会委員(一般財団法人関西情報センター) 澤田 雅彦
話題提供：「SIP第2期『国家レジリエンス(防災・減災)の強化』と政府における災害情報システムに係る取組」
小委員会委員(株式会社パスコ) 坂田 博昭 氏
関連活動報告：「KIIS 防災関連活動 関西防災減災推進プラットフォーム」進捗
小委員会委員(一般財団法人関西情報センター) 藤本 剛
意見交換

出席者数：15名

(第3回)

日時：2025年3月10日(月) 13:20～14:45

場所：クリスタルタワー20階F室+Web会議

内容：小委員会の活動テーマ状況：

「防災・減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討」

・アンケート整理と活動への反映

小委員会委員長(株式会社パスコ)

五十嵐 善一 氏

・活動3項目の進捗

小委員会委員(一般財団法人関西情報センター)

澤田 雅彦

関連活動報告：「KIIS 防災関連活動 関西防災減災推進プラットフォーム」進捗

小委員会委員(一般財団法人関西情報センター)

藤本 剛

話題提供：「災害情報の広域かつ瞬時把握・共有の取り組み～SIP スマート防災ネットワークの構築～」

法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授 今井 龍一 氏

意見交換

出席者数：30名

■外部発表(第49回社会基盤情報標準化委員会第1回中間報告)

日時：2025年1月22日(水) 10:00～11:40

形式：オンライン

発表内容：スマートインフラセンサの防災画像情報等の標準化検討小委員会

～防災減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討～

小委員会委員長(株式会社パスコ)

五十嵐 善一 氏

小委員会委員(一般財団法人関西情報センター)

澤田 雅彦

(9) 地区防災計画研究会

地域の防災力向上を目的に、自治体や地域コミュニティの防災計画策定・実践に関する情報共有と議論の場を提供する研究会を開催するとともに、研究会活動をPRするため、次のとおりイベント出展および講演を行った。

■第1回研究会

日時：2025年1月16日(木) 15:00～17:30

場所：松下IMPビル2階 会議室

内容：基調講演：京都大学 防災研究所巨大災害研究センター 教授

矢守 克也 氏

自治体事例報告1「高槻市におけるコミュニティタイムラインの取り組み」

～地区防災計画へのあゆみ～

高槻市 危機管理監

松永 正明 氏

自治体事例報告2「福知山市における個別避難計画の取り組み」

福知山市 福祉保健部 地域包括ケア推進課

高橋 和利 氏

地区事例報告「住民相互の助け合いでつくる要支援者に対するセイフティネット」

NPO法人とれじゃーBOX 理事長

大槻 由美 氏

出席者数：23名

■第2回研究会

日 時：2025年3月24日(月) 15:00～17:30

場 所：クリスタルタワー20階 会議室

内 容：基調講演：「巨大災害に備えるー地域の力を活かすためには？」

三重大学大学院 工学研究 教授

川口 淳 氏

事例報告1「岸和田市に学ぶ実践的な地区防災計画ー堺市の事例を交えてー」

NPO法人とれじゃーBOX 理事長

大槻 由美 氏

事例報告2「芦屋市における地区防災計画の現状ー呉川町の取り組みー」

芦屋市議会 議員

田原 俊彦 氏

出席者数：26名

■第11回(2024)震災対策技術展 大阪 出展および講演

展 示 日：2024年7月4日～5日

場 所：マイドームおおさか

講演日時：2024年7月5日 12:00～12:45

講演内容：「明日の安全を守る：地域の力で進める防災ー地区防災計画で実現する、安全な地域社会ー」

一般財団法人関西情報センター 主席研究員

坊農 豊彦

3. 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託

(1) 令和6年度総務省請負事業「地域のセキュリティコミュニティの強化に向けた調査研究及びインシデント演習等の運営の請負」

総務省における全国でのサイバーセキュリティ普及啓発事業を受託した。全国各総合通信局管内において、地域の事業者が参加するサイバーセキュリティに関する演習やワークショップ等を推進する。これにより地域の事業者におけるサイバーセキュリティレベルの向上を図るとともに、学生等若年層に向けたサイバーセキュリティに関するワークショップ等を通じて若年層のサイバーセキュリティへの関心を喚起する。また、地域の通信・放送事業者等向けのアンケート調査も実施し、地域におけるセキュリティ対策推進の課題や要望等についても吸い上げる。各事業の詳細はつぎの通り。

⑦地域のセキュリティコミュニティの強化に向けた施策の効果的な実施のための事前調査

全国11カ所の総合通信局管内の放送事業者・電気通信事業者を中心に、経営層やセキュリティ担当者が社内システム等にかかるセキュリティ対策を実施するうえでどのような支援を必要としているかのニーズを把握するためにアンケート調査を実施。合計434社からの回答を得た。(2024年10月1日～11月29日に実施)

⑧インシデント演習の企画及び運営(全国10管区14か所)

主に中小の地域セキュリティのコミュニティ加入事業者を対象に、全国10カ所の総合通信局管区にて実施。効果的なインシデント対応についての講義を1時間行った後、PCを使用してインシデントとなり得るリスクを疑似体験する実機演習を30分、インシデント対応の意思決定を行う机上演習を2時間実施した。実施した演習の詳細は次のとおり。

日程	開催地	演習テーマ	参加者数
2024年 9月11日(水)	広島県広島市	業務システムに対するサイバー攻撃	34名
2024年10月 1日(火)	岩手県盛岡市	業務システムに対するサイバ	35名

		一攻撃	
2024年11月11日(月)	埼玉県さいたま市	ランサムウェアの脅威	38名
2024年11月28日(木)	京都府京都市	ランサムウェアの脅威	27名
2024年12月2日(月)	宮崎県	業務システムに対するサイバー攻撃	34名
2024年12月11日(水)	沖縄県	業務システムに対するサイバー攻撃	34名
2024年12月18日(水)	宮城県	CMSの脆弱性によるWebの改ざん+Emotet	31名
2025年1月15日(水)	北海道	業務システムに対するサイバー攻撃	19名
2025年1月20日(月)	静岡県 (ハイブリッド開催)	ランサムウェアの脅威	13名 (現地10名/オンライン3名)
2025年1月21日(火)	愛知県 (ハイブリッド開催)	ランサムウェアの脅威	25名 (現地20名/オンライン5名)
2025年2月5日(水)	徳島県	ランサムウェアの脅威	23名
2025年2月17日(月)	長野県	業務システムに対するサイバー攻撃	8名
2025年2月18日(火)	富山県	フィッシングサイトの脅威	21名
2025年3月6日(木)	大阪府	ランサムウェアの脅威	47名

㊦若年層向けCTF(Capture The Flag)ワークショップの企画及び運営(全国3か所)

主に中学生・高校生・高等専門学校生・短大生・大学生・大学院生を対象に、全国3カ所の総合通信局管区にて実施。近年のサイバー攻撃のトレンドおよびサイバーセキュリティに対する考え方に関する講義を1時間行った後、ノートパソコンを活用して講師から出題された問題を解くCTFパートを2時間実施した。実施した演習の詳細は次のとおり。

日程	開催地	参加者数
2024年10月5日(土)	高知県高知市	16名
2024年12月7日(土)	長野県	17名
2024年12月21日(土)	愛知県(ハイブリッド開催)	25名(現地23名/オンライン2名)

㊧若年層向けCTF(Capture The Flag)全国型ワークショップの企画及び運営

主に高専生・大学生・大学院生・若手社会人(3年目まで)を対象に参加者を全国から募り、全国7会場およびオンラインを結び、同一日に実施。近年のサイバー攻撃のトレンドおよびサイバーセキュリティに対する考え方に関する講義を1時間行った後、ノートパソコンを活用して講師から出題された問題を解くCTFコンテストを2時間30分実施、その後地域の優秀者及び全体の最優秀者の表彰を行った。各現地会場およびオンラインの参加者は次のとおり。

開催形式	開催地	参加者数
現地参加	東京都千代田区	26名
	宮城県仙台市	23名
	石川県金沢市	23名

	大阪府大阪市	27名
	岡山県岡山市	14名
	愛媛県松山市	9名
	福岡県福岡市	13名
オンライン参加	-	271名
合計		406名

(2) 令和6年度セキュリティ人材活用促進実証に係る業務(独立行政法人情報処理推進機構(IPA))

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)より委託を受けた本事業は、情報処理安全確保支援士(以下、「登録セキスペ」)の活躍機会(ビジネス)の創出と、中小企業向けセキュリティ対策支援の促進を目的とするものである。本事業の核となるのは、中小企業支援機関(地域の商工会議所や自治体等)が活用できる専門家データベース「アクティブリスト」の構築であり、当該リストを活用する中小企業、支援機関、専門家をつなぐ仕組みについての検討を行った。

㊦ 相談会開催の実施

実証事業として、中小企業を対象とした相談会を全国3地域で各2回、計6回開催した。相談会では登録セキスペによる個別相談を実施した。

- ①大阪 2024年10月24日、2024年11月18日 共催：大阪商工会議所
- ②名古屋 2024年10月21日、2024年11月20日 共催：名古屋商工会議所
- ③埼玉 2024年10月15日、2024年11月25日 共催：さいたま商工会議所

参加実績

- ・参加企業：105社(参加者数：122名)
- ・個別相談実施件数：55件
- ・参加専門家(登録セキスペ)：21名

㊧ マネジメント指導の実施

個別相談を受けた中から希望する企業(全34社)に対し、セキュリティ専門家が3回にわたり訪問指導(マネジメント指導)を実施した。指導テーマは5つの選択肢から、専門家と企業が協議の上で決定。使用された指導ツール(5テーマ別)は、IPAとの協議に基づきKIISが作成した。また、指導実施により成果が得られた好事例7件を「ベストプラクティス集」としてまとめた。

㊨ セキュリティ専門家スキルアンケート

情報処理安全確保支援士のスキルを可視化するため、IPAセキュリティプレゼンター登録者722名を対象にスキルアンケートを実施した。調査項目はIPAと協議の上、NIST CSF2.0をベースに作成し、結果、合計221件の有効回答(回収率30.6%)を得た。

㊩ アクティブリスト試作と検討

上記事業で得られた知見を基に、中小企業の抱える支援ニーズと登録セキスペの持つ専門性を橋渡しする「アクティブリスト」の試作を行った。リストの設計においては、NIST CSF2.0を基にした支援メニュー構成や専門家スキル評価の変換方法を提案し、中小企業が使いやすい検索画面を設計した。

(3) 地区防災計画策定支援業務

住民主体の地区防災計画の策定を支援し、地域の防災力向上を図ることを目的として、草津市1

地区(大略区)「地区防災計画策定支援業務」、芦屋市2地区(松浜町、朝日ヶ丘町)「令和6年度地区防災計画策定支援業務委託」、岸和田市1地区(修斉地区)「令和6年度岸和田市修斉地区防災計画策定業務」を受託し、つぎの通りワークショップの開催や計画書作成(支援)、防災訓練を実施した。

- ・草津市大略区 2024年7月11日、8月20日、9月10日、10月24日、11月14日、12月19日、2025年1月23日、2月13日
- ・芦屋市松浜町 2024年7月21日、9月15日、11月10日、2025年2月9日
- ・芦屋市朝日ヶ丘町 2024年7月30日、9月24日、12月22日(訓練)、2025年2月25日
- ・岸和田市修斉地区 2024年10月24日、2025年2月24日(訓練)

(4) 地震・津波防災訓練等業務(内閣府)

内閣府防災担当(地方・訓練担当)より5地区(北海道豊浦町、新潟県佐渡市、新潟県上越市、千葉県長生村、福井県坂井市)の地震・津波防災訓練等業務を受託し防災訓練等(訓練前ワークショップ、地震・津波防災訓練、訓練後ワークショップ)を実施した。また、ワークショップおよび地震・津波防災訓練の結果を踏まえ、調査報告書の本編および概要版を作成した。さらに、参加者アンケートの結果をもとに評価報告書を作成し、記録映像も制作した。

	訓練前ワークショップ	地震・津波防災訓練／訓練後ワークショップ
北海道豊浦町	2024年9月13日(金) 14:00～16:30	2024年10月4日(金)9:00～10:15 2024年10月4日(金)10:30～12:00
新潟県佐渡市	2024年9月28日(土) 13:30～15:30	2024年11月17日(日)9:00～9:30 2024年11月17日(日)10:00～11:30
新潟県上越市	2024年8月29日(木) 15:00～17:00	2024年10月12日(土)8:00～9:00 2024年10月12日(土)9:30～10:15
千葉県長生村	2024年9月16日(月) 13:30～16:30	2024年10月14日(月)9:00～10:00 2024年10月14日(月)11:00～12:30
福井県坂井市	2024年9月25日(水) 19:00～21:00	(中止)

4. 情報化推進事業

(1) 公共施設情報システムサービス

スポーツ施設と文化施設の予約・抽選機能を備えた公共施設情報システムをプライベート・クラウドで提供しており、大阪府下自治体向けのスポーツ施設予約サービス(OPAS)と、スポーツ施設・文化施設の予約サービス(ESPAL)をあわせて21自治体でトラブルなく、安定したサービスを提供するとともに政令指定都市向けに新しい施設をシステムに追加し、サービスを開始した。また、新規に受託した自治体に対しては運用テスト後、本番移行を実施した。

※ESPAL: the Establishment System of Portal And Lead

OPAS: Osaka Public Access Service

(2) 情報セキュリティシステム構築支援事業(セキュアサポートサービス等)

日常のビジネス活動において簡単でかつ安心・安全なデータの交換や保管を実現するための実用的なセキュアサービスの提供と、自治体におけるシステムの運用サービスを提供しており、

題もなく安定した運用を行った。

5. 社会システム支援事業

(1) 健康保険組合業務サポート事業（基幹システム及び周辺サービスの提供および運用保守）

① システムサポート保守

全国320/1379の健康保険組合に基幹システムやオプションシステムの提供と運用支援を行った。また、ホームページ構築運用を始めとする各種インターネットサービス及び健康増進活動支援システムの提供と運用支援を行い、新たに9組合へサービス導入を行い、2025年度に向けて2組合へのサービス導入が確定した。

② 健保業務DX化、国策との連携等、業務効率化推進

- ・2024年12月に実施されたマイナンバーカードの保険証利用義務化（現行保険証廃止）に伴う施策について、基幹システムの国庫補助金事業「資格情報のお知らせ」通知事業を受託し実施するとともに、「資格確認書」発行機能を全利用組合へ適切に導入した。
- ・国策であるマイナンバー情報をはじめとする国関連との自動連携（電子申請の自動連携／オンライン資格確認情報連携等）導入につき継続して推進中。
- ・昨年度に開発したデータ自動連携サービス（KX）に関して11組合に導入し稼働中。2025年度に向け5組合の導入が確定した。
- ・健康管理ソリューション関係については、2024年4月から開始された第4期特定健診特定保健指導及び第3期データヘルス計画において、引き続き適切なサポートを実施した。

③ ユーザー会事業推進

近畿地域のユーザー会事業として、2回の講習会を実施した。

(2) 委託先に対するサイバー攻撃について

委託先がランサムウェアによるサイバー攻撃を受けたため、委託元として必要な調査・対応を行った。

6. 情報化社会基盤整備事業

(1) プライバシーマークの審査、認定

プライバシーマーク制度は事業者が個人情報を適切に取扱う体制等を整備・運用していることを認定し、その証として「プライバシーマーク」の使用を認める制度であり、利用者と事業者双方に個人情報保護の意識を高め、安全な利用を促す目的を持つ。当財団では関西地域及び福井県におけるプライバシーマーク指定地域審査機関として、プライバシーマーク付与に係る申請の受付・審査と付与適格決定可否等の業務を行っており、2024年10月以降の申請受付分からは改定された「個人情報保護マネジメントシステム 導入・実践ガイドブック（JISQ-15001/2023）」の指針に基づき審査を行っており、2024年度はつぎの通りである。

	新規	更新	合併分社	合計	前年比
申請件数	76	795	12	883	92.5%
審査件数	71	834	4	909	100.7%
適格認定件数	74	843	14	931	102.2%

7. 広報・交流活動事業

(1) WEB、SNS等を通じた情報発信の充実

ホームページ上に「KIIS フォーラム」のページを新設し、いつでも KIIS の活動成果報告をご覧いただけるようにした。また、Facebook の表示窓を新設するなど、ホームページのレイアウト変更を行い、2024 年 4 月から 2025 年 3 月の訪問者数は月平均 1,207 名あり、閲覧回数は月平均 2,068 回となった。また、メールマガジンを通じて、イベントやセミナーの開催案内や関連団体の最新情報などを随時、配信した。

(2) 賛助会員の方々への有益な情報提供・交流の場の提供

①新春講演会及び交流会を次のとおり開催した。

日時：2025 年 1 月 17 日(金) 16:30～18:30

会場：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）

内容：ご挨拶 一般財団法人関西情報センター 会長 森下 俊三

①講演会(オンライン)

「A I に関わる経済産業省の取組」について

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 情報処理基盤産業室 室長補佐

杉之尾 大介 氏

②交流会・情報交換会

来賓ご挨拶 総務省 近畿総合通信局長

藤田 清太郎 氏

経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 次長

前原 誠 氏

参加者：73 名

②KIIS の最近の活動状況を紹介する機関誌「KIIS VISION」を次のとおり発行した。

KIIS VISION vol.1 (2025 年 1 月発行)

I. ごあいさつ 一般財団法人関西情報センター 会長

森下 俊三

II. 特集テーマ

国際観光都市・大阪の近未来を描く：大阪・関西万博で残すべきレガシーは？

阪南大学 国際学部国際観光学科・教授

松村 嘉久 氏

III. 活動状況報告

・IT シンポジウム インフォテック 2024 実施報告

「AI は、ヒトの感性にどこまで迫れるか？～生成 AI 時代における新たな価値創造とビジネス～」

イノベーション創出支援グループ マネジャー

秋田 治

・ハピネス・ドリブン・エコノミーの担い手と DX の役割

～「e-Kansai レポート 2024」より～

イノベーション創出支援グループ 主任研究員

渡邊 智子

・未来創造サロン

イノベーション創出支援グループ マネジャー

秋田 治

イノベーション創出支援グループ 主任研究員

渡邊 智子

・KIIS におけるサイバーセキュリティ関連各事業について

イノベーション創出支援グループ グループマネージャー・主席研究員

石橋 裕基

・KIIS の防災への取組み紹介：地域とともに未来を築く防災 DX の取組み
イノベーション創出支援グループ 防災減災チーム 主席研究員 坊農 豊彦
配布先：賛助会員 等

以上

(附属明細書について)

2024年(令和6年)度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため作成を省略する。